



サプライチェーンの強靱化に向けた 今後の論点

第6回JMC 海事振興セミナー発表資料

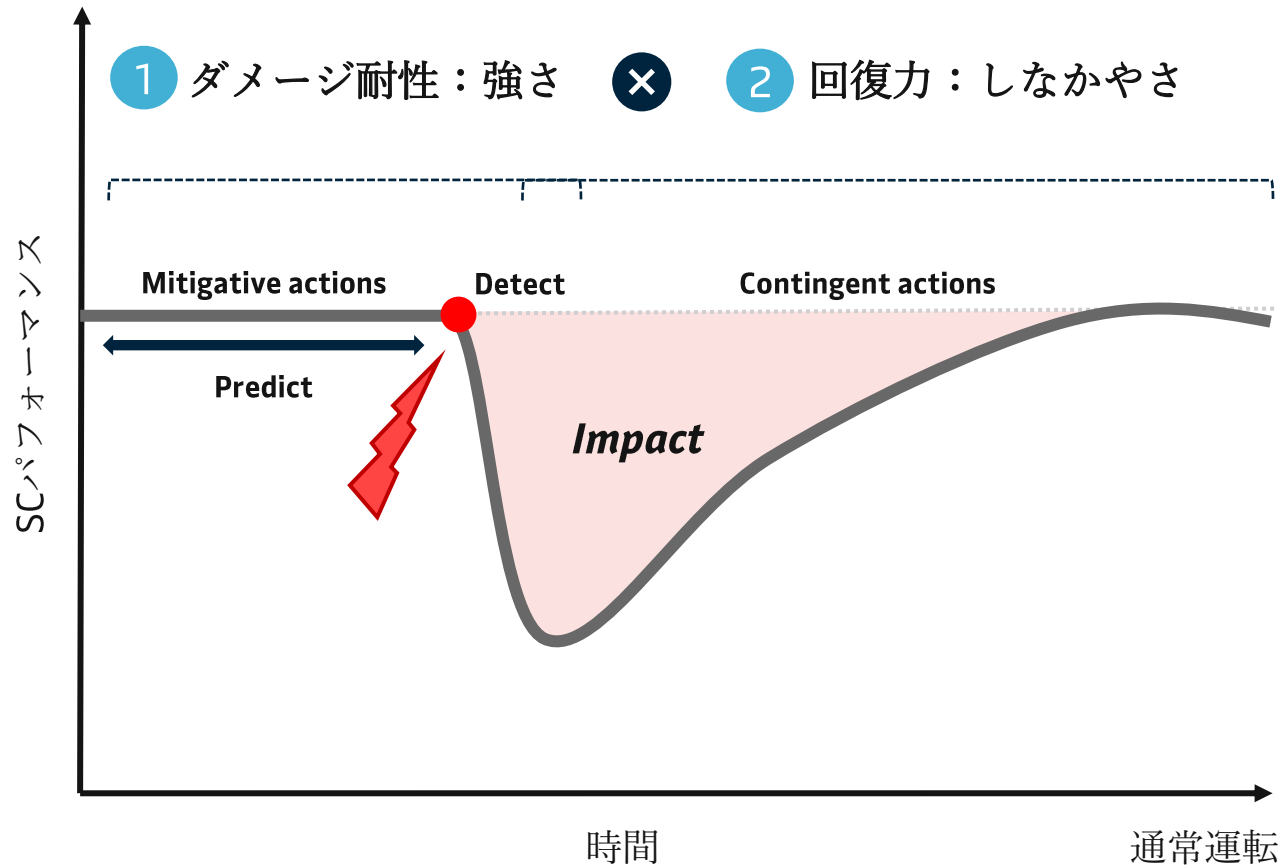
2023年5月10日

本日の位置づけ

「サプライチェーンの強靱化」は、関心の高まり度合いに比例して実践している企業の数が増えているかといえば、必ずしもそうではない

「強靱化」が持つ2つの要素について押さえるべきポイントを紹介し、サプライチェーンの将来展望に関する弊社の考えを共有させていただく

強靱化は「ダメージ耐性の強さ」と「速やかな回復力」の2つの要素から構成される



今後の論点

自社サプライチェーンの

- ①ダメージ耐性を強め
- ②速やかに回復できるには

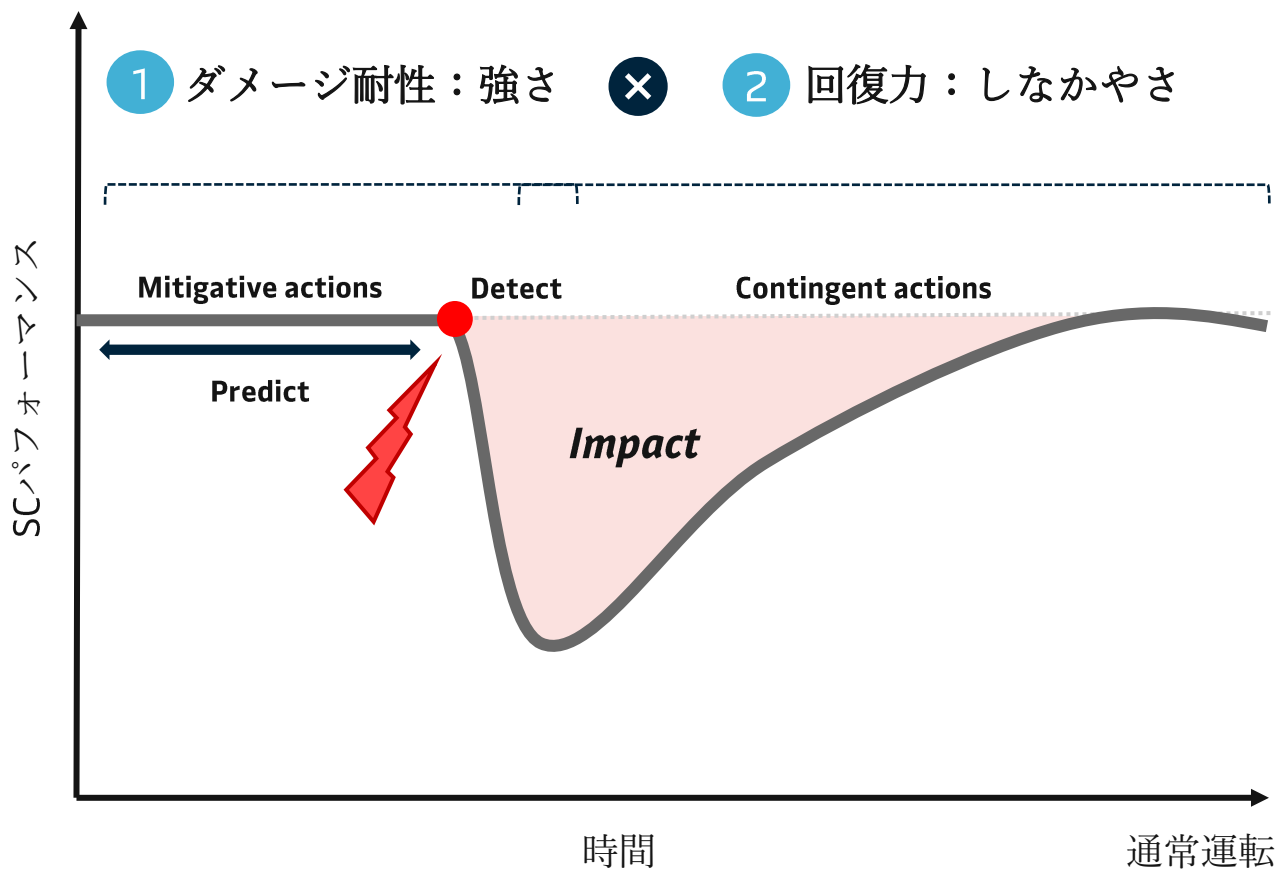
どうすればいいか

サプライチェーンに影響を及ぼすリスク要因は近年増加している



ダメージ耐性を強めるには？

サプライチェーンの「強靱化」は、大きく2つの要素から構成



1 ダメージ耐性：強さを養うポイント

Data and visibility



Inventory management



Information management



Transportation data



Supply chain data integration

2 回復力：しなやかさを養うポイント

Agility



Transportation flexibility

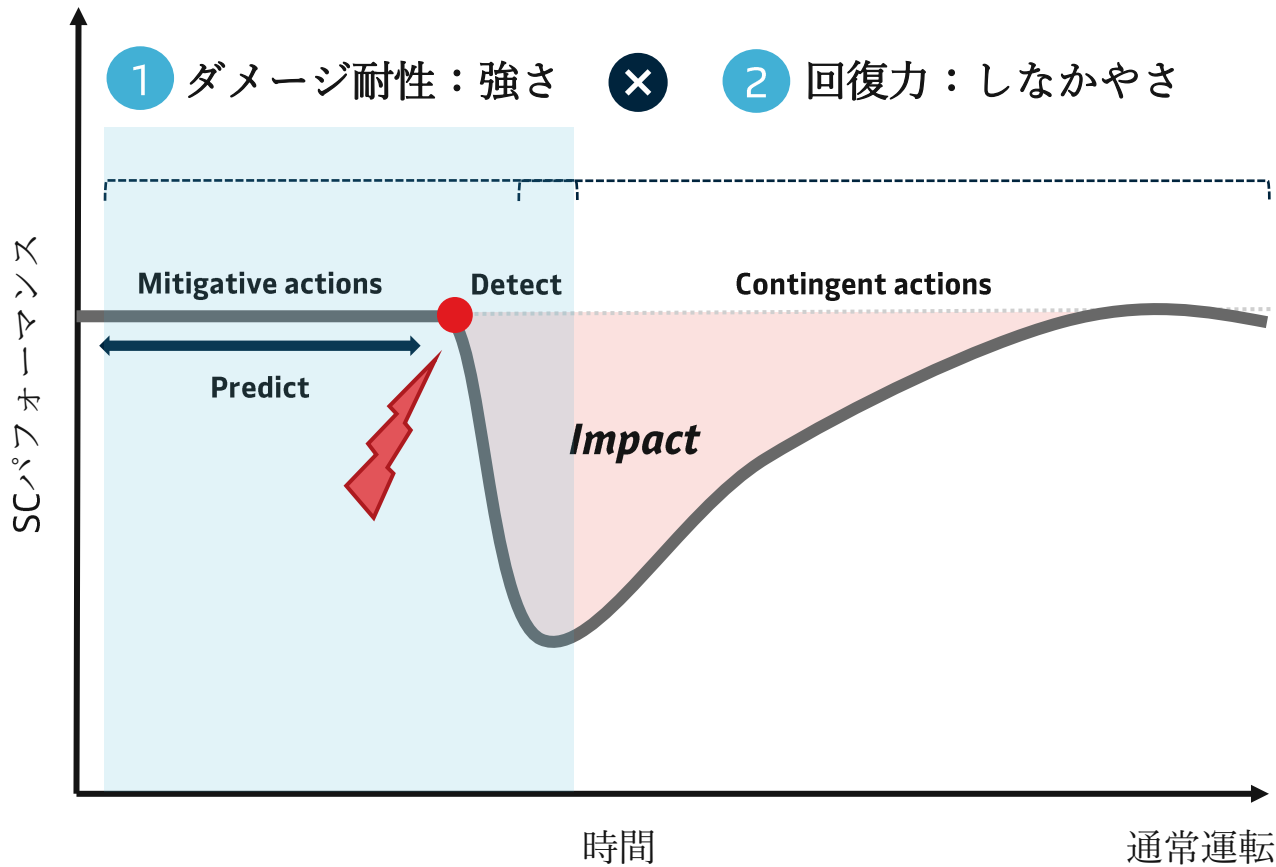


Flexible warehousing



Contingency planning

サプライチェーンの「強靱化」は、大きく2つの要素から構成



1 ダメージ耐性：強さを養うポイント

Data and visibility



Inventory management



Information management



Transportation data



Supply chain data integration

2 回復力：しなやかさを養うポイント

Agility



Transportation flexibility



Flexible warehousing



Contingency planning

ダメージ耐性強化に向けて検討すべき「データと可視性」のポイント



在庫状況の可視化

デジタル在庫管理プラットフォームを導入するなどし、在庫ストックとフローの流れを可視化。高度な機械学習を用いた需要予測を行い、在庫過剰・不足リスクを最小限に抑える



情報の可視化

サプライヤー、メーカー、輸送業者など、サプライチェーン上の複数の関係者間の情報共有プラットフォームを導入し、データ駆動型のサプライチェーン計画へと移行する



貨物状況の可視化

貨物の状況をリアルタイムで把握し、地域的な気温上昇など輸送中に起き得る潜在リスクを特定。早期特定で豊富な選択肢の確保や荷受人への迅速な情報共有などを可能にする

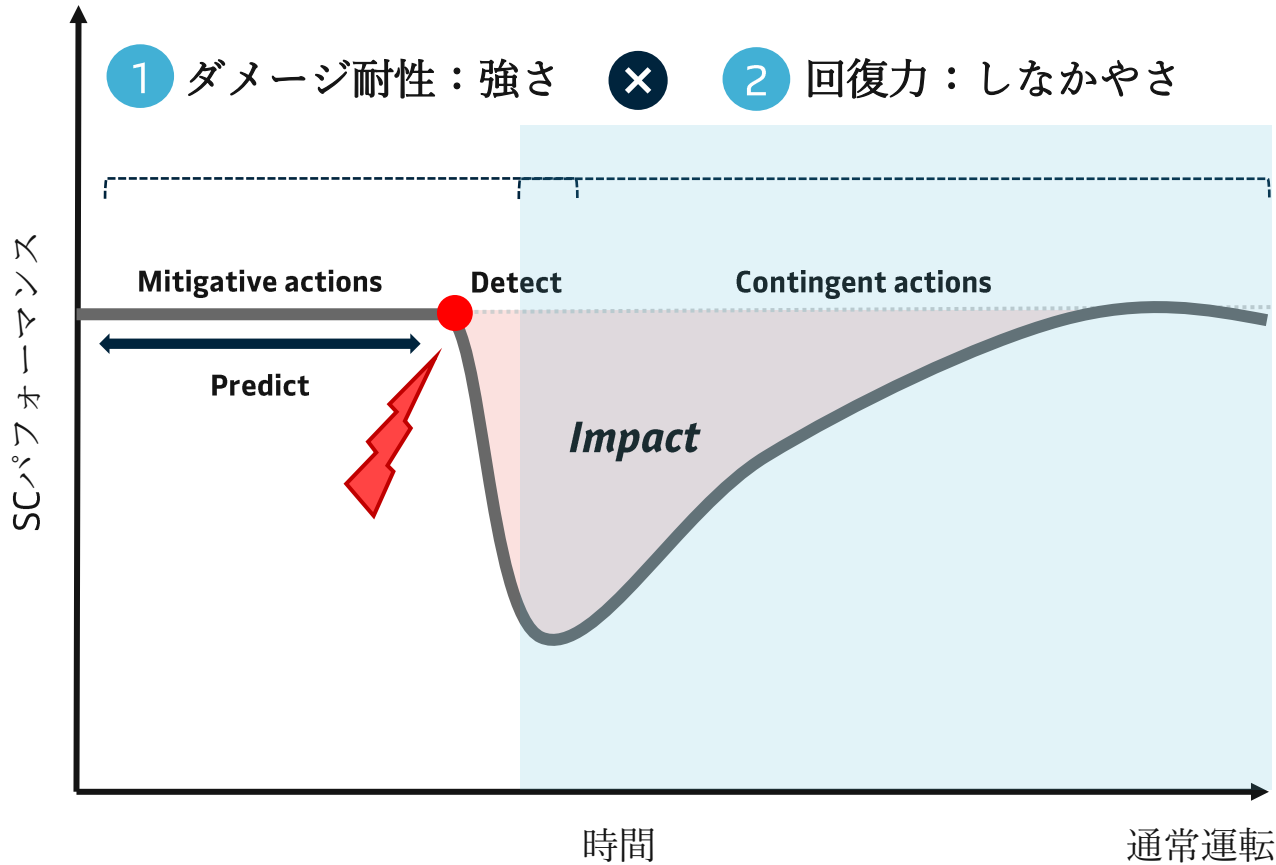


サプライチェーンデータの統合

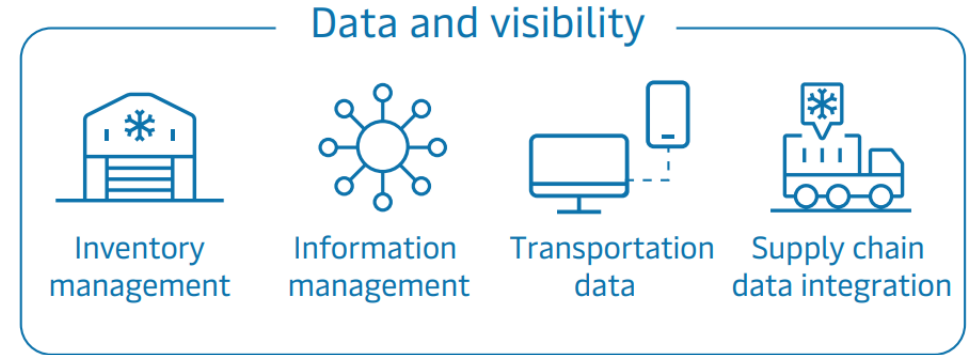
輸送や通関など、各領域のステークホルダーとの連携を可視化し、情報のサイロ化を防ぐ。4PL事業者の採用やコントロールタワーを設置

「速やかに回復」 できるには？

サプライチェーンの「強靱化」は、大きく2つの要素から構成



1 ダメージ耐性：強さを養うポイント



2 回復力：しなやかさを養うポイント



速やかな回復を実現する「アジリティ」 3つのポイント



輸送の柔軟性

輸送手段を複数確保し、特定のサプライヤーへの依存度を低め、輸送中にも状況に応じて代替オプションの実行を可能にする



柔軟で広範な 倉庫ネットワーク

グローバル・ローカルにかかわらず、供給元・製造場所・仕向け地などで複数の倉庫ネットワークを確保。非常時に応じた柔軟な在庫計画の調整を実施



BCP策定と 明確な実行体制

想定シナリオ別の代替計画やオプションを策定し、実行可能なレベルにまで役割分担とトリガーポイントを明確化

サプライチェーンを取り巻く事業環境は根幹から変容している

サプライチェーンのドライバー

グローバルドライバー



- 貿易政策の保護主義化
- グローバル経済の変動
- 複雑性の増加

テクノロジー



- デジタル化の加速
- プラットフォームの台頭
- 情報アクセスの民主化

消費チャネルのシフト



- Eコマースの台頭
- 購買行動の多様化
- ロイヤリティ獲得の難化

強靱化

- 社会課題への問題意識の高まり
- 価値提供の多様化
- 未曾有のリスク要因の増加

変化やトレンド

サプライチェーンの“再配線”



- ニアショアリング
- 調達先の多様化
- 中国内陸部のEC需要拡大

戦略的パートナーシップ



- 結果責任の共有
- 不要な複雑性の削減
- リスクシェアリング

新たな物流ソリューション

- 統合されたロジスティクス
- 柔軟な在庫管理
- 可視性と実行可能性
- 持続可能なサプライチェーン





MAERSK



MAERSK